
拝啓 愛しのあなた

キコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

拝啓 愛しのあなた

【Nコード】

N4015V

【作者名】

キコ

【あらすじ】

明日死ぬことが決まってしまった女性が、恋人に遺書を書く。
本文のほとんどが遺書の内容です。

『私は明日死ぬみたい。

あなたへの最初で最後の手紙が遺書になるなんて思ってもいなかった。

少し、悲しいね。

ここまで書いて思うのだけど、文字にすると素直に思いを記せそうなの。

だから、これに書くことに、何も嘘はないわ。

言ったこともあったけど、私はあなたを愛していました。

とても、とても。

私という世界の中で、あなたが一番大事と言っても過言ではないくらいに。

そんなあなたに好いて貰えた私は、なんて幸せな女だったのでしょう。

わかりません。

自分でもわからないほど、幸せだった。

あなたとの出来事、

喧嘩して、私が鳴き出せば

「ごめん」と頭を撫でてくれたこと。

二人で、綺麗な夜景を見に、ドライブに行ったこと。

会えば、必ず、優しく微笑んでくれること。

そして、

「愛してる」と言っ、真っ赤になりながらも指輪を渡してくれたこと。

そうした、ひとつひとつの思い出が私の宝物よ。
感謝してる。

終わりに、

我が儘な私からお願いをするわ。

もしも、気になる女性が出来たら、私に遠慮なんかしないで、
新しい恋をして。

あなたの人生なんだから、楽しんで。
約束よ。

追伸

ありがとう。

私をすきでいてくれて、ありがとう。
』

女性はペンを置き、丁寧に封筒へと便箋をしまつと、もう一度震え

る手でペンを執り、涙ながらに一列の文字を書いた。

『愛しのあなた』へ

（後書き）

お読み頂き、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4015v/>

拝啓 愛しのあなた

2011年10月9日12時37分発行